



元気いっぱい、笑顔いっぱい、活力みなぎる 朝二の子

# 朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL 048-461-0042 FAX 048-467-4735

E-mail [2shou@asaka-c.ed.jp](mailto:2shou@asaka-c.ed.jp) ホームページ <http://www.asakada2shou.city-asaka.ed.jp>

令和2年 8月21日(9月号) 児童数 700名 (8/20現在)

## 子供たちの主体性を高める

そつたくどうじ  
-「啐啄同時」-

朝霞市いじめ撲滅宣言 「いじめをしない、させない、許さない」  
～お互いの良さを認め合おう、いじめを止める勇気をもとう～

校長 谷井 喜信

8月1日からの夏休みに合わせるかのように長かった梅雨が明け、厳しい暑さが続いております。今年の夏は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、帰省や遠出を控えたご家庭も多かったのではないのでしょうか。大きな事故や病気等の連絡もなく、子供たちが元気に2学期を迎えることができますこと、保護者、地域の皆様方に深く感謝申し上げます。

さて、初めての試みとなるオンライン「おうち de 夏休みちゃれんじスタディ」は、保護者の皆様方のご理解とご協力により、3日間で延べ250人余りの参加がありました。活動内容である夏休みちゃれんじ発表会、読み聞かせや歌の練習、ものづくり体験、パネルシアター、キッズヨガ体験、おもしろ学習クイズなど、オンラインの画面を通して子供たちの笑顔が見られ、楽しいひと時を過ごすことができました。この取組の様子がテレビや新聞で報道され、最終日には加藤美幸前校長も応援にかけつけてくださいました。企画・運営に当たった学校応援団の皆様、機材の準備や操作など全般にわたってご尽力いただいた胡口様をはじめ多くの皆様方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。子供達が自主的に学んでいけるよう引き続きよろしく願いいたします。一方、職員のほうはというと、ICT機器を用いた研修会や外国語研修、そして8月3日には戸田市立戸田東小学校 小高美恵子校長を招いて「教育におけるICTの活用について」の講演会を実施しました。取組の成果を今後に生かすとともに、非常事態に備えた動画配信・オンライン授業が実施できるような体制作りを進めていければと考えています。



【おうちdeちゃれんじスタディ】



【「ICT活用」講演会】

またこの休み中に心に残ったこととして、甲子園高校野球交流試合が挙げられます。春の選抜大会が中止になり、晴れの舞台となる甲子園での試合が叶わず涙した選手たちの顔が重なります。出場校32チームが1試合ずつプレーする、勝っても負けても最後の試合。開会式では日本高野連の八田英二会長が、「ありがたいの反対語をご存知でしょうか。反対語は『当たり前』です。これまでの周りの方々の心配りや手助けは当たり前ではなく奇跡ともいえるべきものです。そのために感謝の気持ちを『当たり前ではなかった』という言葉に込めるのです。私達は決して一人では生きてはいけません。これからも感謝の気持ちを忘れずに甲子園球児という誇りを胸に、長い人生行路を歩んでください。」と選手たちにエールを送りました。一度はあきらめた憧れの甲子園でプレーできる、地区代表としての誇りと責任を持って全力プレーを誓う一方、コロナ禍の中で十分な練習ができなかったという不安もあったかもしれませんが、そんな選手たちの気持ちに思いを巡らせながら高校球児の活躍を応援しました。ご覧になられた皆さんはどのような思いで観戦されましたでしょうか。いずれにしても、活躍の場が提供され選手たちのこれまでの努力が報われたことは何よりでした。

子供たちは主体的・対話的で深い学びを行う中で自らの思考力・判断力・表現力を高めていきます。また、人との関わりを通して社会性や豊かな心を培っていきます。特に共通の目標を全体で共有しながら取り組む行事は、子供たちを大きく成長させます。2学期もコロナ対策や熱中症対策を講じながら意義ある教育活動を行い、子供たちに知・徳・体をバランスよく育んでまいります。

今日から2学期が始まります。始業式(ビデオ放送)では、中国の昔の人の教えだと言われている「啐啄同時(そつたくどうじ)」のお話をします。鳥の雛は自分のくちばしで卵の殻の内側をコツコツと叩き続けて外に出ようとしています。しかし、それだけでは卵の殻は破れません。一体どうすればいいのでしょうか。実は、外にいる親鳥が助けてあげているのです。雛が内側から叩いている場所を一生懸命に探り当てて、卵の外側から叩いてやるのです。そうすると、その場所に少しずつ穴が開き始め、やっとのことで雛が産まれてくるのだそうです。この話を聞かせることで、子供たちが常に目標を持って物事に主体的に挑戦することの大切さに気付いてくれれば幸いです。子供たち自身が大きく成長したことを実感できる2学期となるよう、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。